西暦 2023 年 11 月 14 日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、病理診断科では、以前に病理解剖を受けた方の標本と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 剖検心を用いた潜在性心アミロイドーシスに関する研究

[研究対象者] 2000年1月から2020年12月の間に当院で病理解剖を受けた50歳以上の方
＊病理学（実験病理学分野）（旧名称：第二病理学）が解剖を担当した方のみ

[利用している検体･診療情報等の項目]
検体：剖検で作製された心臓標本（パラフィンブロック）
診療情報等：年齢、性別、疾患名、既往歴、治療内容、血液検査結果、画像検査所見（胸部レントゲン、CT、MRI、心臓超音波検査、心臓核医学検査、心臓カテーテル検査)、生理検査（心電図検査、ホルター心電図)、死亡日、死亡理由、病理診断結果（病理診断報告、剖検報告書、病理標本、マクロ・ミクロ写真)、等。

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）
アミロイド蛋白が心臓に溜まる状態を心アミロイドーシスと呼び、加齢に伴い増加することが明らかとなっています。本研究は、病理解剖を行った高齢の患者さんにおける、心アミロイドーシスの頻度を解明することを目的としています。

[利用期間] 2018 年 12 月から 2026 年 12 月までの間（予定）

[この研究での検体･診療情報等の取扱い]
本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]
研究責任者：東京女子医科大学　病理診断学 教授　長嶋 洋治
研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　病理診断学 講師 吉澤 佐恵子
電話：03-3353-8111（内線 31422）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）
ファックス：03-5269-7473　E メール：yoshizawa.saeko@twmu.ac.jp